



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 フィールズ株式会社

コード番号 2767 URL https://www.fields.biz/

代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 山本 英俊

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営管理部長(氏名) 畑中 英昭 (TEL) 03-5784-2111

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	29,182	△21.5	△1,865	—	△1,690	—	△2,677	—
2020年3月期第3四半期	37,165	△1.2	△4,113	—	△3,970	—	△4,287	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △2,564百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △4,762百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△81.77	—
2020年3月期第3四半期	△129.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	56,483	31,088	54.0
2020年3月期	64,317	34,279	52.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 30,514百万円 2020年3月期 33,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	△2,200	—	△2,000	—	△3,300	—	△101.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期売上高予想につきましては、現在のパチンコ・パチスロ市場環境を考慮して、売上高を開示していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	34,700,000株	2020年3月期	34,700,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,368,300株	2020年3月期	1,516,300株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	32,744,994株	2020年3月期3Q	33,183,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績および連結業績予想に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績および連結業績予想に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績および連結業績予想に関する説明

当第3四半期連結累計期間における遊技機業界は、2020年4月に新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて政府による緊急事態宣言が発出され、パチンコホールの営業自粛、ならびにメーカーの半導体等製造部材調達の遅延、また旧規則機撤去期限の一部延長が決定する等、市場停滞トレンドの影響を受けました。これによって、4月および5月は緊急事態宣言を遵守し、販売活動を自粛致しました。緊急事態宣言が解除されて以降販売活動を再開し、上半期の販売台数は1.6万台に終わりました。

第3四半期(10月-12月)には、新型コロナウイルス感染者数の減少等を受けて、政府が社会経済活動と感染抑制の両立をかかげる中、パチンコホールの稼働も急速に回復に向かいました。また、パチンコ遊技機等内規の見直しによる新たなゲーム性を搭載した遊技機が市場で高い評価を得ていたこと等により、市場の総販売台数は上半期に比べ増加しました。このような状況下、当社は下半期において、パチンコ5機種、パチスロ6機種、計12.0万台の販売を計画、うち第3四半期には、パチンコ2機種、パチスロ3機種の販売を行い、計5.2万台を計上しました。

(株)円谷プロダクションでは、ファン層に適した実写・アニメ等の映像作品を映画・テレビ・配信等を通じて国内外に提供することによって『ウルトラマン』ファンを拡大するとともに、映像事業とマーチャンドライジングの双方で収益化する中期事業戦略を推進しております。映像事業では、映画『シン・ウルトラマン』の公開に向けて、映画公式Twitterの開設、特報映像の公開等、着実に準備を進めております。また、マーチャンドライジングは、国内外ともに堅調に推移しております。

(株)デジタル・フロンティアでは、国内ゲーム会社を中心としたCG映像制作および国内外からのVFX映像制作ニーズに継続して対応しました。同社がVFXを手掛けたNETFLIXオリジナル映像作品『今際の国のアリス』は、昨年12月に全世界で配信を開始、好評を博しておりシーズン2の制作が決定されました。

その他の事業に関しましても、新型コロナウイルス感染拡大により上半期に受けた影響を脱し、順調に進捗しております。

以上の結果、第3四半期(10月-12月)の連結営業利益は14.6億円となり、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高29,182百万円(前年同期比21%減)、営業損失1,865百万円(前年同期の営業損失4,113百万円)、経常損失1,690百万円(同3,970百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失2,677百万円(同4,287百万円)となりました。

第4四半期におきましては、パチンコ3機種、パチスロ3機種、計7.0万台の販売を計画しておりました(後発機を除く)。これに基づき、通期連結業績予想を、営業利益12.0億円、経常利益12.0億円、当期純利益3.5億円とし、2020年11月13日に公表致しました。

その後、第4四半期に入り、1月7日に緊急事態宣言が再発出され、政府や自治体から外出等の接触機会削減が強く要請されたことにより、パチンコホールを訪問する営業活動に支障をきたす状況が続いております。さらに、緊急事態宣言が3月7日まで延長されたことにより、パチンコホールが新台購入を抑制する傾向が当面続くことも見込まれます。

これらを踏まえ、第4四半期に販売を計画していました6機種のうち3機種の納品を、感染拡大終息が見込まれる翌第1四半期に延期することに致しました。これを主因として、当第4四半期においては、販売台数が2.5万台(現在販売中)、連結営業損失が3.4億円となる見通しであることから、通期連結業績予想を表1の通り、営業損失22.0億円、経常損失20.0億円、当期純損失33.0億円に修正致しました。

なお、第4四半期納品予定3機種と翌第1四半期に延期した3機種の内訳は以下の通りです。

○第4四半期納品予定3機種

パチンコ『Pコードギアス 反逆のルルーシュ』(現在販売中)

パチスロ『絶対衝激Ⅲ』等、2機種

○翌第1四半期に延期した3機種

パチンコ『ぱちんこ ウルトラマンタロウ2』等、2機種

パチスロ1機種

翌第1四半期におきましては、販売を延期させていただいた3機種(計5.0万台予定)、ならびに翌第1四半期に当初より予定している2~3機種(現在検討中)を販売致します。これにより、翌第1四半期の連結営業利益は20億円以上(当第1四半期△24.0億円)となる見通しです。

販売機種数/販売台数および四半期営業利益等の推移

	上半期		下半期				翌第1四半期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			前期からの延期機種	当初販売予定機種	合計
				計画	修正	差異			
販売機種数									
パチンコ	—	—	2機種	3機種	1機種	△2機種	2機種	2~3機種	5~6機種
パチスロ	—	3機種	3機種	3機種	2機種	△1機種	1機種		
販売台数	1.6万台		5.2万台	7.0万台	2.5万台	△5.0万台	5.0万台		
四半期営業損益	△24.0億円	△9.2億円	14.6億円	30.6億円	△3.4億円	△34.0億円			20億円以上
累計営業損益		△33.2億円	△18.6億円	12.0億円	△22.0億円	△34.0億円			

表1 連結業績予想の修正内容

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期		増減額
	前期実績	前回発表予想	今回修正予想	
営業利益	713	1,200	△2,200	△3,400
経常利益	939	1,200	△2,000	△3,200
親会社株主に帰属する当期純利益	490	350	△3,300	△3,650

(注1) 本短信に記載の数値は全て当社推計によるものです。

(注2) 本短信に記載の商品名は各社の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、43,016百万円と前連結会計年度末比7,564百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものです。

有形固定資産は、4,468百万円と前連結会計年度末比266百万円の減少となりました。これは主に建物及び構築物の減少によるものです。

無形固定資産は、2,757百万円と前連結会計年度末比235百万円の減少となりました。これは主にのれんの減少によるものです。

投資その他の資産は、6,240百万円と前連結会計年度末比231百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券の増加によるものです。

以上の結果、資産の部は56,483百万円と前連結会計年度末比7,834百万円の減少となりました。

(負債の部)

流動負債は、15,165百万円と前連結会計年度末比2,831百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少によるものです。

固定負債は、10,228百万円と前連結会計年度末比1,811百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

以上の結果、負債の部は25,394百万円と前連結会計年度末比4,643百万円の減少となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、31,088百万円と前連結会計年度末比3,191百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ198百万円増加し、24,924百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4,865百万円（前年同期は1,877百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失2,324百万円、売上債権の減少8,487百万円、仕入債務の減少1,693百万円、たな卸資産の減少733百万円、未払又は未収消費税等の増減716百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、917百万円（前年同期は1,220百万円の収入）となりました。これは主に固定資産の取得による支出447百万円、出資金の払込による支出260百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3,749百万円（前年同期は5,597百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出3,990百万円、自己株式の取得による支出365百万円、配当金の支払331百万円などによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,825	25,024
受取手形及び売掛金	14,171	6,955
電子記録債権	1,087	932
商品及び製品	446	879
仕掛品	4,852	4,190
原材料及び貯蔵品	2,574	2,068
その他	2,652	2,983
貸倒引当金	△29	△16
流動資産合計	50,580	43,016
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,644	1,645
その他	3,090	2,822
有形固定資産合計	4,734	4,468
無形固定資産		
のれん	2,156	1,938
その他	836	818
無形固定資産合計	2,992	2,757
投資その他の資産		
投資有価証券	1,325	1,653
長期貸付金	373	369
その他	4,682	4,619
貸倒引当金	△373	△402
投資その他の資産合計	6,008	6,240
固定資産合計	13,736	13,466
資産合計	64,317	56,483
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,336	7,672
短期借入金	200	280
1年内返済予定の長期借入金	5,329	3,712
未払法人税等	127	28
賞与引当金	251	164
役員賞与引当金	14	9
その他	2,736	3,297
流動負債合計	17,996	15,165
固定負債		
長期借入金	7,691	6,028
退職給付に係る負債	674	731
資産除去債務	889	908
その他	2,784	2,560
固定負債合計	12,040	10,228
負債合計	30,037	25,394

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,948	7,948
資本剰余金	7,579	7,579
利益剰余金	20,060	16,879
自己株式	△1,821	△1,946
株主資本合計	33,767	30,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	28
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整累計額	22	23
その他の包括利益累計額合計	34	53
新株予約権	—	1
非支配株主持分	477	572
純資産合計	34,279	31,088
負債純資産合計	64,317	56,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	37,165	29,182
売上原価	30,829	22,027
売上総利益	6,336	7,154
販売費及び一般管理費	10,449	9,019
営業損失(△)	△4,113	△1,865
営業外収益		
受取利息	16	4
受取配当金	79	2
仕入割引	138	14
持分法による投資利益	—	182
出資分配金	17	12
その他	76	93
営業外収益合計	328	309
営業外費用		
支払利息	46	71
持分法による投資損失	61	—
貸倒引当金繰入額	19	28
その他	57	34
営業外費用合計	185	133
経常損失(△)	△3,970	△1,690
特別利益		
固定資産売却益	16	0
関係会社清算益	17	—
特別利益合計	34	0
特別損失		
固定資産除却損	3	10
投資有価証券売却損	212	—
訴訟関連損失	58	10
新型コロナウイルス感染症による損失	—	609
その他	1	3
特別損失合計	275	634
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,212	△2,324
法人税等	76	267
四半期純損失(△)	△4,288	△2,592
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	85
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,287	△2,677

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△4,288	△2,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△476	26
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△474	27
四半期包括利益	△4,762	△2,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,765	△2,658
非支配株主に係る四半期包括利益	3	94

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△4,212	△2,324
減価償却費	1,052	611
のれん償却額	419	217
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△119	△87
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	30	57
受取利息及び受取配当金	△96	△6
持分法による投資損益 (△は益)	61	△182
支払利息	46	71
売上債権の増減額 (△は増加)	3,525	8,487
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△40	733
商品化権前渡金の増減額 (△は増加)	△132	4
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,337	△1,693
未払又は未収消費税等の増減額	212	△716
出資金償却	603	246
その他	1,167	△311
小計	△1,815	5,117
利息及び配当金の受取額	96	5
利息の支払額	△46	△71
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△112	△186
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,877	4,865
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,575	△252
有形固定資産の売却による収入	48	4
無形固定資産の取得による支出	△385	△194
投資有価証券の償還による収入	200	—
投資有価証券の取得による支出	△215	△44
投資有価証券の売却による収入	3,593	43
関係会社株式の取得による支出	△10	△99
関係会社株式の売却による収入	1	—
出資金の払込による支出	△336	△260
貸付けによる支出	—	△47
貸付金の回収による収入	46	32
その他	△145	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,220	△917
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,496	80
長期借入れによる収入	250	710
長期借入金の返済による支出	△3,983	△3,990
自己株式の取得による支出	—	△365
配当金の支払額	△331	△331
その他	△35	147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,597	△3,749
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,255	198
現金及び現金同等物の期首残高	28,807	24,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,552	24,924

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。